

への関心が高まる中、無農薬農業の振興を。
答 現在、JAS法の有機農産物の基準に対応できる産地を育成しており、高松地域等を中心に有機無農薬農産物が生産されている。今後さらに、JAW女性部や意欲ある後継者の活躍で供給が増加し、地産地消が進む特色ある農業生産を推進したい。

政隆会

少子化対策の行動計画 平成15年度策定へ

問 少子化の進展は将来の経済社会に深刻な影響を及ぼす緊急の課題だが、あらゆる角度から少子化対策を検討すべきでは。
答 本市としても、保育や男女共同参画の推進、乳幼児医療費の現物給付等に力を注いでおり、平成14年は前年に比べ出生数が若干増加している。今後も少子化対策を市政の最重要課題の一つと位置づけ、15年度にはアクションプランを策定し、具体的に総合的な政策体系にした

消防力の強化に向けて

問 消防・救急機能の強化は

緊急を要する課題だが 救急隊の増強計画は 近隣市町と合併した場合の消防力への影響は。



市民の安全・安心のために

問 平成15年度から、定員を抑えながら工夫をすることで、一個分隊の救急隊配置が可能となった 県南政令市構想研究会の参加自治体はすべて常備消防、常備救急を保有しているが、合併により互いの補充作用が働き、消防力の強化充実が図られるものと考ええる。

私学での イメージ教育を支援

問 国際化が進展する中、イメージ教育(外国語による教育)の必要性が高まっているが、私立校での具体化の動きは。
答 平成15年度から、ノートルダム清心女子大学附属小学校

が、アメリカから教員を招き実施する予定にしており、貴重な意見や問題点を市全体の教育に生かしたいと考えている。各種調査等を依頼するとともに、適切な支援を行っていききたい。

新岡山21

コンベンションセンターの 機能強化に向けて

問 第三セクターである(株)岡山コンベンションセンターが、ホテルエクセル岡山等の競売入札に参加し落札した理由は。
答 会社の機能強化と経営安定に必要な施設と判断し、参加したと聞いている。独立採算を前提に、税金を使うことなく経営基盤を安定させ、市への配当という形で貢献できるように考え方で現在動いており、市民にとって最善の方向で努力していることとするものだ。

低公害車導入を 公用車への

問 地球環境の汚染防止の観点から、公用車への低公害車の導入推進を。
答 リース車両については、平成15年度以降、更新時期が来た車両から順次「岡山市指定低

公害車導入要領」に基づき、契約に反映したい。また、ごみ収集車へのLPガス自動車等の導入について、他都市の実績も参考に、機能面や給油施設の整備状況等の情報収集に努め、可能な車両から前向きに検討したい。

学校給食の民間委託 今後の予定は

問 学校給食の民間委託の具体的な導入順序は 将来的な官民比率は。
答 希望校を優先する中で、平成15年度に上道・興除給食センターを、16年度からは中学校を六福祉事務所の所管区域順、かつ岡山市立学校条例への掲載順を基本に移行していく 官民が互いに切磋琢磨し、より良い



子どもの成長を支える学校給食(東嶽小学校)

給食とするため、児童生徒数で半々の配分を目標としている。

高次脳機能障害に 積極的な支援を

問 交通事故や脳疾患等により情緒など機能に障害が起きる高次脳機能障害に対し、市として積極的に支援しては。
答 県と相談しての専門家養成研修や、小規模作業所の紹介など当事者の方々が出かけられる場所づくりに取り組んでいる。今後、窓口対応を行う職員の見識の向上に努めるとともに、国・県と連携しながら、研究途上にある高次脳機能障害について考えていく気運を醸成したい。

岡山市民の会

「健康市民おかやま21」

問 平成15年度以降十年間の市民の健康づくり計画となる「健康市民おかやま21」の特徴は 15年度からの取り組みは。
答 市民グループが目標項目の選択や実践項目の提案等に関わるなど市民協働で作成し、市民実態調査をもとに本市独自の目標値を掲げている 市民や地域、事業所等へ計画の普及啓